

日本・インドネシア合同現場見学参加報告

修士1年 藤岡 佳祐



高知工科大学の五艘隆志准教授の企画である Universitas Atma Jaya Yogyakarta (インドネシア)の学生との合同現場見学の一部に参加してきました。日本の大学では高知工科大学、愛媛大学、東京都市大学から学生が参加しました。

2日間で大成建設JVが施工を担当している羽沢トンネル作業所、北西線作業所(シールドトンネル)、外環大泉トンネル作業所、南北線作業所(沈埋トンネル)と4つの現場を見学しました。巨大なトンネル工事を内部に入って見学できたことは学生にとってはそれだけで貴重な経験です。また採掘した土砂の搬送などトンネル工事に付随する重要な作業に関しても理解を深めることができました。

私が英語をほぼ全く話せなかったため、インドネシアの学生とのコミュニケーションをほとんどできなかったことが悔やまれます。この「交流したいのに言葉がでてこない」という体験をしたのは初めての経験でした。夕食のとき、五艘先生は「サバイバルイングリッシュだ」と強弁されていたので、今後の課題として生き抜くための、そして多少の雑談はできる英語は身につけようと強く感じました。

高知工科大学の学部3年生2人とは高知での生活など、愛媛大学の松下聖史さんは同じ

学年なので、松下さんの交通系の研究や、就活の話などをしました。同じく愛媛大の Celso さんはモザンビーク出身で、夕食の際には Celso さんの本国ではどれだけ大学に進む人が少ないかなどを話してくれました。

このような貴重な企画を実行していただいた五艘先生と東京都市大学の有園さんに感謝申し上げます。お二方のような豪胆さを私も身につけたいものです。



現場見学1日目の夕食の様子(五艘先生、高知工科大学2名、愛媛大学2名、藤岡)